

でも楽しく



やさしい場オープン

東京都板橋区心の身障児総合医療療育センター（君塚葵所長）に10月19日、入所中の子どもを癒やすためのプレールーム「マニユライフわくわくるーむ」がオープンした。子どもが障害の程度に関係なく遊べるように寝ころんでいても天井の絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びの絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びのプレールームの装飾りなどに遊べるものなど

東京都板橋区心の身障児総合医療療育センター（君塚葵所長）に10月19日、入所中の子どもを癒やすためのプレールーム「マニユライフわくわくるーむ」がオープンした。子どもが障害の程度に関係なく遊べるように寝ころんでいても天井の絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びのプレールームの装飾りなどに遊べるものなど

野球用のグローブを買いたい子ども

親と離れて暮らす子ども達の夢を支援(寄付)するサイト

HOME | このサイトについて | ブログ | お問い合わせ | 寄付カート

CATEGORY

- 男の子への支援
- 女の子への支援
- 幼少への支援
- 夢への支援

CONTENTS

- 寄付者募集
- このサイトについて

CART

なにも選別されていません

RANKING

野球グローブ 5,000円

寄付をする

社会的養護の支援サイト

習字に行きたい、保育士になりたい… 子どももその夢に寄付届く

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもを支援するための取り組みがある。児童支援寄付サイト「ゆめさば」（写真）だ。ネットショッピング感覚で寄付ができ、自分のお金が具体的にどんなことに使われるかわかるのも特徴の一つ。ゆめさばは2012年4月にスタートした。運営者は、社会福祉法人阪南福祉事業会（大阪府）の児童養護施設「岸和田学園」副園長の永野耕平さん。立ち上げたきっかけは、永野さんの友人が子どもをサッカー

や野球チームに所属させたい、ピアノを習わせたりしている、施設や里親のもとにいる子どもたちには「ゆめさば」だ。ネットショッピング感覚で寄付ができ、自分のお金が具体的にどんなことに使われるかわかるのも特徴の一つ。ゆめさばは2012年4月にスタートした。運営者は、社会福祉法人阪南福祉事業会（大阪府）の児童養護施設「岸和田学園」副園長の永野耕平さん。立ち上げたきっかけは、永野さんの友人が子どもをサッカー

ネット通販感覚で

サイトをみると、寄付を募る事例には「習字に行きたい」のほか、夢は保育士という高校3年生が専門学校に進学するための「14年度前期分の学費」などもあり、具体的だ。現在は10件ほどのエントリーがある。寄付は1口2000円や1000円などさまざまある。寄付の方法は支援したい夢を選択し、さらに口数を選んだあと、「寄付をするボタン」を押し、表示される手順に沿って進む。寄付を受けた場合は、運営者の永野さんに連絡をとる。

サイトをみると、寄付を募る事例には「習字に行きたい」のほか、夢は保育士という高校3年生が専門学校に進学するための「14年度前期分の学費」などもあり、具体的だ。現在は10件ほどのエントリーがある。寄付は1口2000円や1000円などさまざまある。寄付の方法は支援したい夢を選択し、さらに口数を選んだあと、「寄付をするボタン」を押し、表示される手順に沿って進む。寄付を受けた場合は、運営者の永野さんに連絡をとる。

永野さんは、子どもたちを大学に行かせたいという思いも強い。将来もろう資金などを考えると大卒の方が有利なためだ。例えば、学費などを気にして大学進学を諦めかけていた子どもを説得。原則的には施設にいられなくなっただけ、職員らと話し合いを重ねて卒業まで学園に住める環境を作った。その子自身も、奨学金やアルバイトで学費や教材費を工面したという。

施設の職員は、大学卒業後に奨学金の返済を背負うことを考え、進学するのを心配していた。永野さんは「大学に行けて、卒業するまで生活に困らない仕組みが必要」と語る。

★ゆめさば <http://yu-me-saba.com/>

（千葉才子）



「二十五日曜の空ほのぼのと明初めて午前七時とあ

明治22（1889）年9月11日、大日本帝国憲法が公布され、翌年11月に第1回帝国議会が開催された。そのため第1次仮議事堂がドイツの建築家アドルフ・ステヒミューラと技師、吉井茂則の設計により建設された。場所は経済産業省の敷地内の麹町区内幸町2丁目1番地である。当日の東京日日新聞（毎日新聞）は次のように伝えている。

「二十五日曜の空ほのぼのと明初めて午前七時とあ

国会議事堂の変遷



子どものために、移動式のおもちゃも導入した。

君塚所長は「手術やリハビリで家を離れている子どもにとって、プレールームは楽しい

改革もあ

政事

はす

か中